

2015年3月期決算説明

過去最高の当期純利益を達成

2015年5月25日

山一電機株式会社

(証券コード 6941)

【1】 FY2014業績について

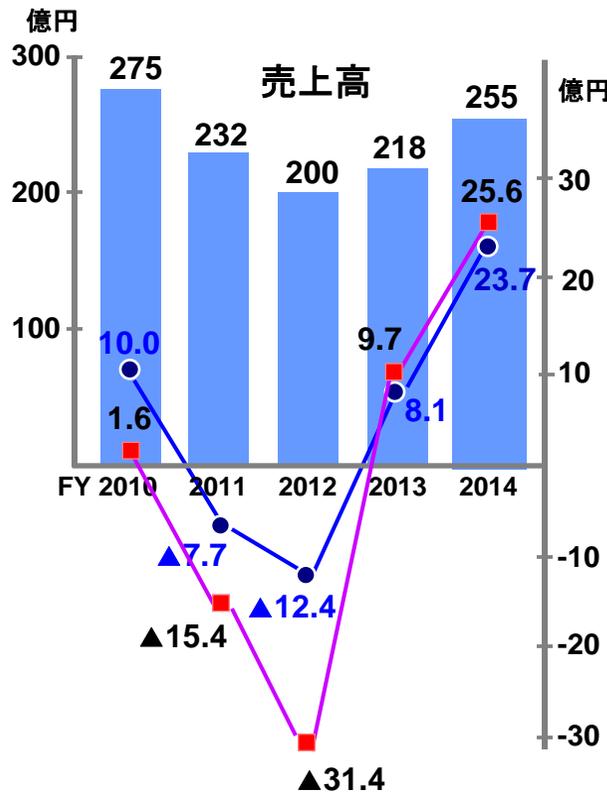
FY2013から取り組んでいる事業構造改革の推進により
大幅な増収増益と財務体質を改善

* 構造改革 * 収益力強化 * 成長戦略

【2】 FY2015業績見通しについて

成長戦略を着々と実行する年

事業構造改革推進により過去最高の当期純利益達成



●- 営業利益
■- 当期利益

単位: 億円	FY2013		FY2014				前期実績比	前回予想比
	実績	売上比	実績	売上比	前回予想	売上比		
売上高	217.8	—	254.6	—	252.0	—	16.9%	1.1%
営業利益	8.1	3.7%	23.7	9.3%	22.5	8.9%	194.0%	5.3%
経常利益	12.9	5.9%	25.3	9.9%	25.0	9.9%	95.9%	1.2%
当期純利益	9.7	4.5%	25.6	10.0%	20.5	8.1%	163.9%	24.8%
EPS (円)	41.65 円		109.91 円		88.03 円		+67.45	+21.86
BPS (円)	578.27 円		719.96 円				+141.7	
ROE (%)	7.2 %		15.3 %				+8.1	
配当金 (円)	5.0 円		15.0 円		12.0 円		+10.0	+3.0
配当性向 (%)	12.0 %		13.6%				+1.6	

※1 営業外損益: 為替差益2.5億円

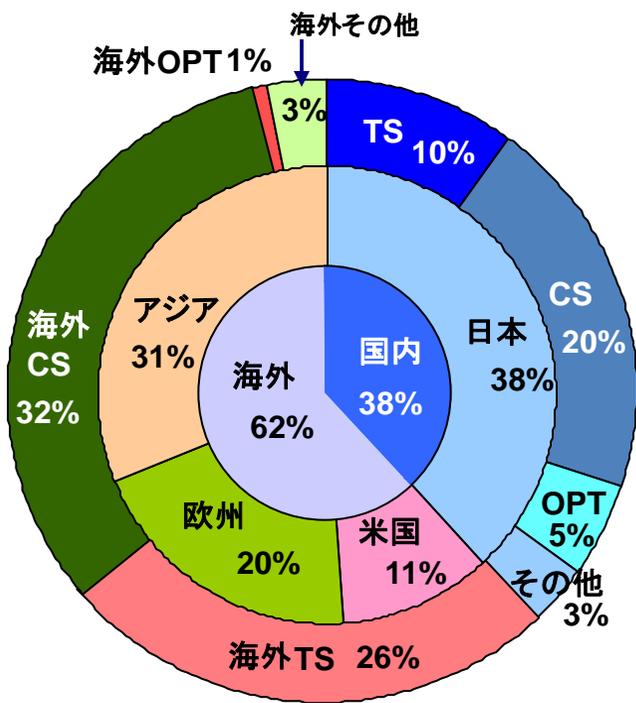
※2 過去最高の当期純利益 1998年3月期 17.6億円

※3 期末数値の自己資本金額にてROE算出

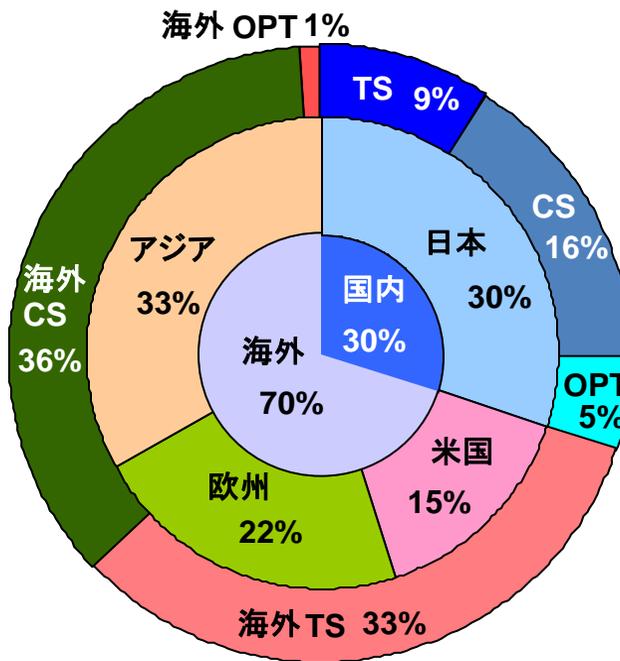
TS事業の大幅増収増益、CS事業は黒字化

単位:億円		FY2013	FY2014		前期 実績比	前回 予想比	前期比コメント
		実績	前回予想	実績			
テスト ソリューション	売上高	90.2	112.0	114.7	27.1 %	2.4 %	メモリ向けバーンインソケットが好調 車載向けも堅調 テストソケットの売上拡大
	営業利益	10.3	17.9	19.5	88.3 %	8.9 %	
コネクタ ソリューション	売上高	113.7	128.0	127.8	12.4 %	△0.2 %	通信・自動車・産機市場向け製品の売上拡大に より、プロダクトミックスの改善が進む
	営業利益	△0.6	3.6	3.9	黒転	8.3 %	
光関連	売上高	11.9	12.0	12.2	2.3 %	1.7 %	光通信、医療機器向け薄膜フィルタ製品が 期後半堅調に推移
	営業利益	0.4	0.5	0.6	39.5 %	20.0 %	
その他	売上高	2.0	0.0	0.0	—	—	
	営業利益	△2.1	0.5	△0.3	—	—	
合計	売上高	217.8	252.0	254.6	16.9 %	1.1%	
	営業利益	8.1	22.5	23.7	194.0 %	5.3 %	

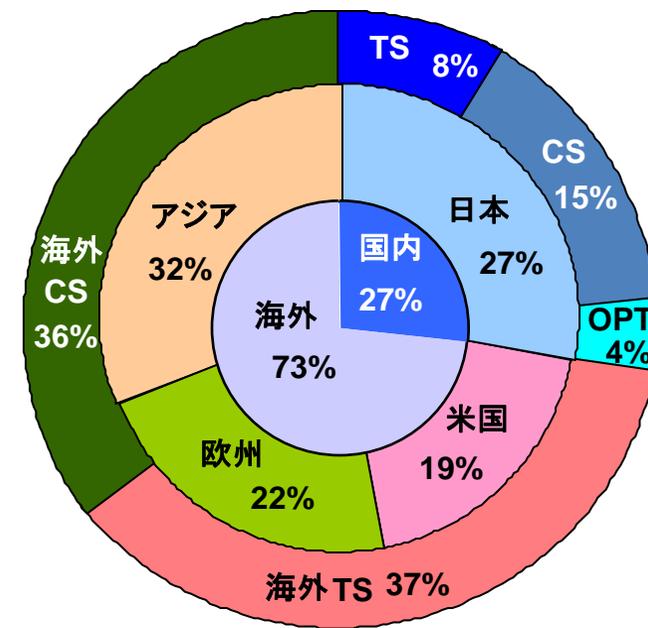
グループ連携強化により 海外売上比率 73% (+3ポイント)



FY2012
国内/海外売上比率



FY2013
国内/海外売上比率



FY2014
国内/海外売上比率

	FY2012	FY2013	FY2014
TS(テストソリューション)事業の海外売上比率	72%	79%	82%
CS(コネクタソリューション)事業の海外売上比率	61%	69%	72%

FY2014貸借対照表

総資産 35億円増加、純資産 33億円増加

6

	FY2013	FY2014	前期比増減	単位:億円
流動資産	123	140	17	
現金及び預金	49	47	△2	
受取手形・売掛金	39	53	14	← 受取手形・売掛金(13.5億円)の増加など
棚卸資産・その他資産	35	40	5	← 繰延税金資産(1.7億円)、棚卸資産(1.8億円)の増加など
固定資産	113	131	18	
有形固定資産	91	96	5	← フィリピン工場取得(2億円)、機械装置(2億円)など
無形固定資産	1	1		
投資・その他資産	21	33	12	← 投資有価証券評価額(3.8億円)の増加、退職給付に係る資産(6.4億円)の増加など
資産合計	236	271	35	
流動負債	86	86		
支払手形・買掛金	15	16	1	
短期借入金	49	44	△5	← 短期借入金(5億円)の減少
その他負債	22	26	4	
固定負債	15	17	2	← 長期借入金の増加(2億円)
負債合計	101	103	2	
株主資本	141	169	28	← 当期純利益等による利益剰余金(28億円)の増加
純資産合計	135	168	33	

フリー・キャッシュ・フロー 7.9億円

設備投資は自己資金で実施

(単位:億円)

	FY2013	FY2014	前期比
営業活動による キャッシュ・フロー	27.8	24.2	-3.6
税引前利益	11.7	25.1	13.4
減価償却費	14.5	14.4	-0.1
その他	1.6	(注) -15.3	-16.9
投資活動による キャッシュ・フロー	-7.0	-16.3	-9.3
固定資産取得	-22.2	-14.9	7.3
その他	15.2	-1.4	-16.6
フリー・キャッシュ・フロー	20.8	7.9	-12.9
財務活動による キャッシュ・フロー	-11.3	-12.9	-1.6
現金・現金同等物 (定期預金含む)			
期末残高	48.9	47.3	

(注) 売掛債権11.6億円増加 (前年度2.1億円の減少)

(単位:億円)



単位：億円

	FY2014		FY2015(予想)			
	上期	通期	上期	前期比	通期	前期比
連結売上	127.7	254.7	136.0	6.5%	267.0	4.8%
営業利益	15.2	23.7	13.5	▲11.1%	25.0	5.5%
営業利益率	11.9%	9.3%	9.9%		9.4%	
経常利益	15.7	25.3	13.0	▲17.0%	24.0	▲5.2%
当期利益	13.4	25.6	11.0	▲18.1%	20.0	▲21.8%
EPS	57.71円	109.91円	47.24円		85.88円	
ROE	—	(注1) 15.3%	—		10%超	
配当金	—	15.00円	(注2) 未定		(注2) 未定	

ご参考：為替レート 1\$ = 118.00円 1€ = 135.00円

(注1) 期末数値の自己資本金額にてROE算出

(注2) 配当予想は未定としましたが、業績見通しがより明らかになった段階で随時公表いたします。

単位：億円

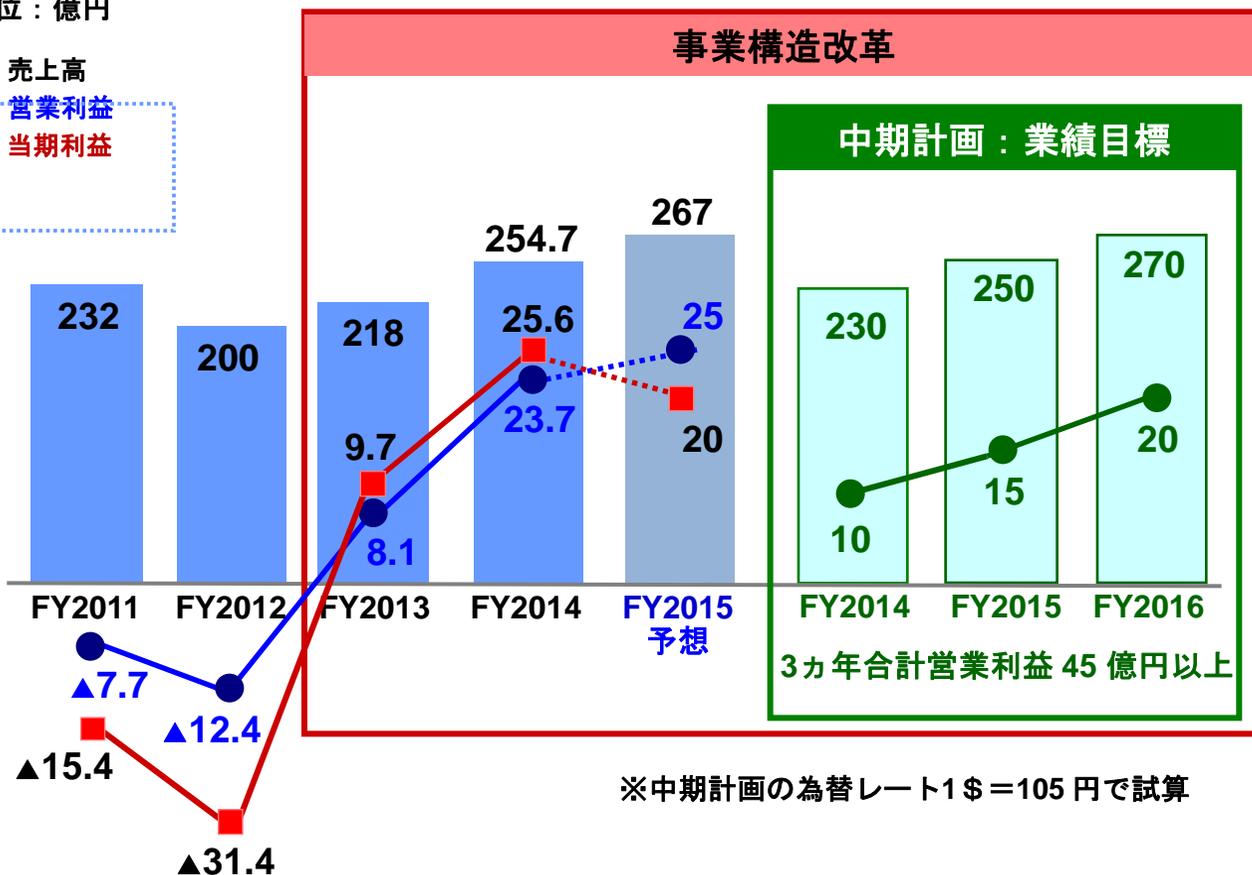
	売上高				営業利益			
	FY2014		FY2015(予想)		FY2014		FY2015(予想)	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期	上期	通期
テストソリューション	57.7	114.7	65.8	120.5	11.0	19.5	10.4	16.3
コネクタソリューション	64.1	127.8	63.8	133.0	3.3	3.9	3.0	7.9
光関連事業	5.9	12.2	6.4	13.5	0.1	0.6	0.1	0.8
その他	—	—	—	—	0.8	-0.3	—	—
合計	127.7	254.7	136.0	267.0	15.2	23.7	13.5	25.0

ご参考：為替レート 1\$=118.00円 1€=135.00円

2年目で中期業績目標 45億円以上を達成させ、FY2016は新たに目標設定 10

単位：億円

■ 売上高
● 営業利益
■ 当期利益



※中期計画の為替レート1\$=105円で試算

◇ 業績目標

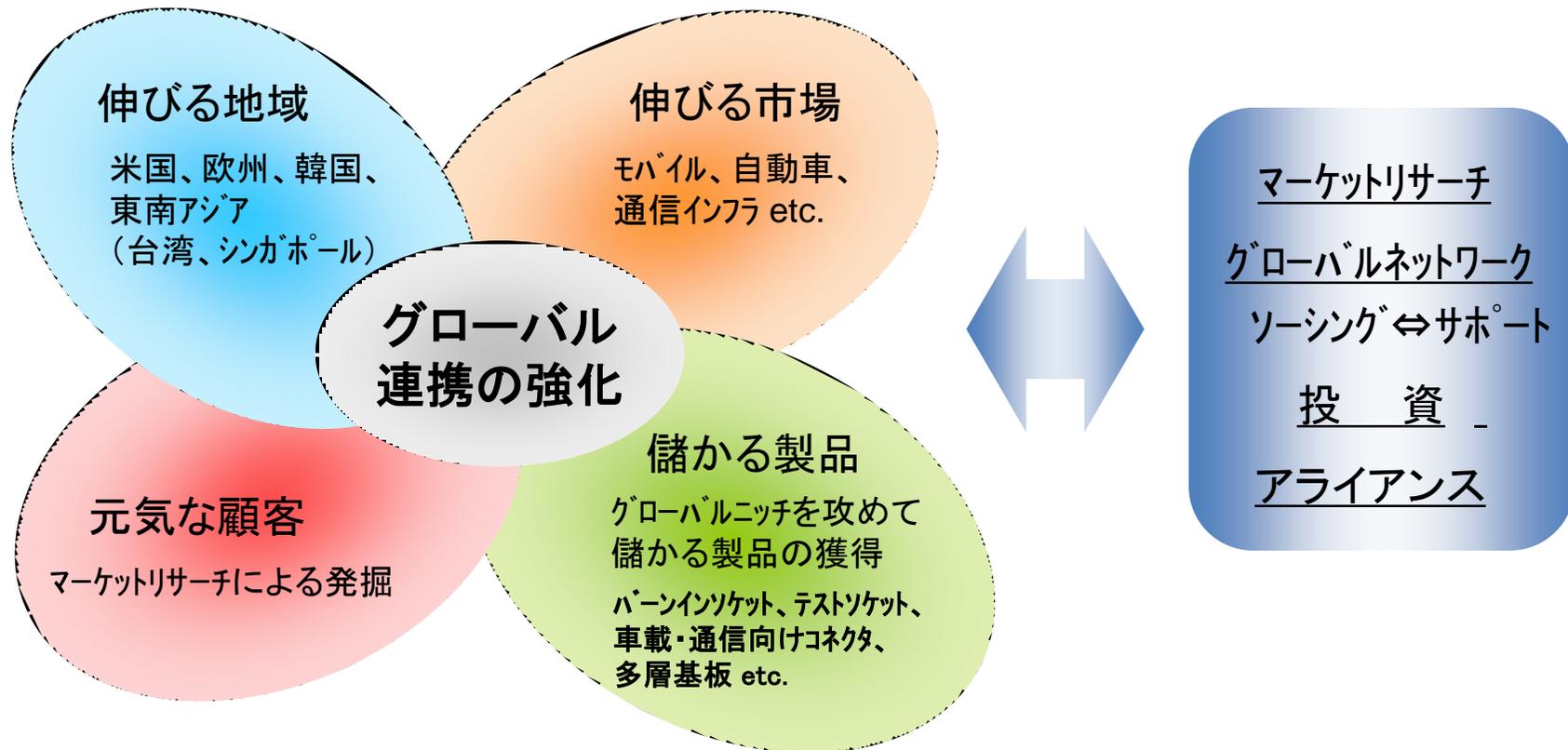
連結営業利益 3ヵ年合計 45億円以上

付帯条件：設備投資額 3ヵ年合計 70億円

**2年目で
業績目標 45億円以上をエイム**

- ☆ テストソケットを伸ばしTS事業拡大
- ☆ 通信・車載・産機用CNを拡大
- ☆ 高速伝送用・多層基板でYFLEX拡大

- ◇ グローバル戦略の強化 『伸びる地域』『伸びる市場』『元気な顧客』『儲かる製品』
- ◇ タイムリーに『魅力ある製品を開発』



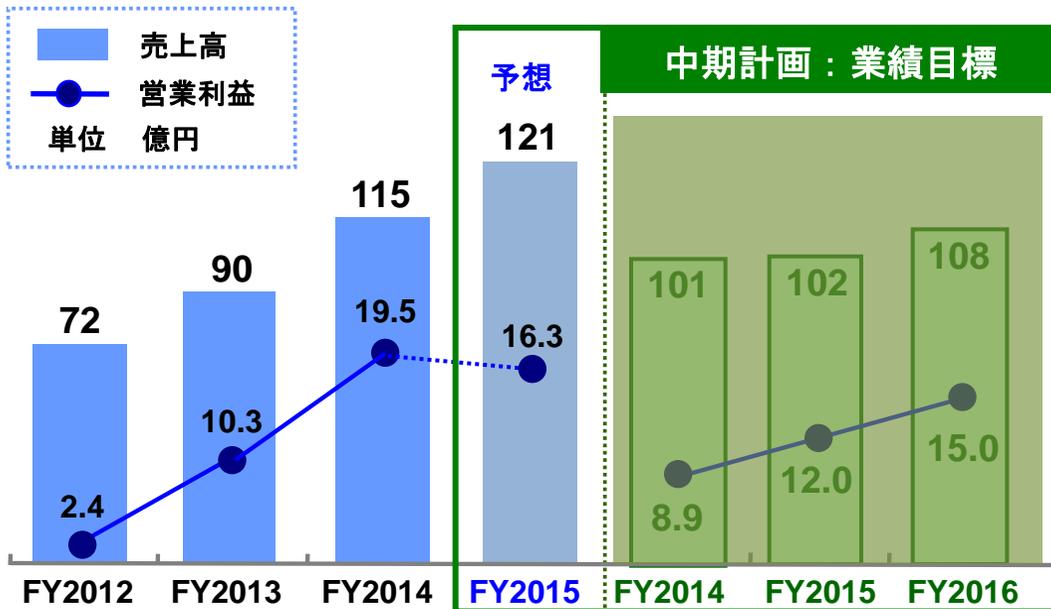
■ お客様が満足いただける製品提供の拡大

- ◇ モバイル関連機器および自動車関連機器向け新製品投入による売上拡大
- ◇ バーンインソケット製品のシェア拡大

■ テストソケット事業の拡充

- ◇ 開発・販売体制強化による売上拡大
- ◇ 新市場開拓による売上拡大
- ◇ 生産ラインの拡充

■ グループ連携強化で顧客サービス向上



※為替レート 1\$ = 105円で試算

テストソケット



諏訪工場



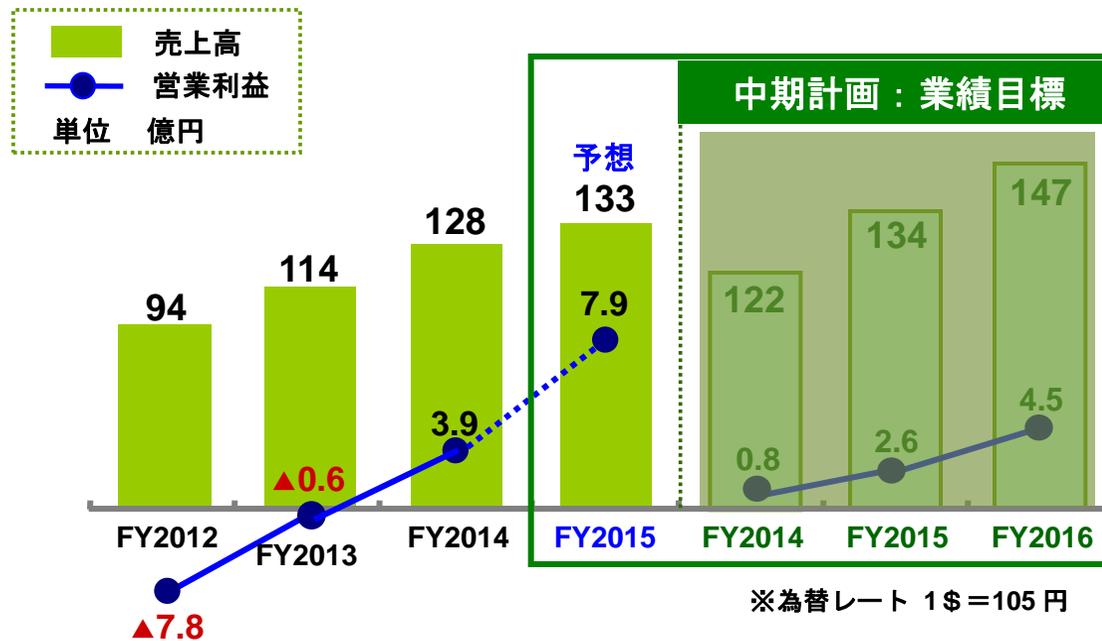
■ 差別化製品の拡販による収益力の強化

- ◇ 通信市場・自動車市場・産業機器市場の3市場向け製品の拡販
- ◇ 高速伝送技術や接触信頼性技術を活かした魅力ある製品の開発
- ◇ YFLEX 多層基板製品の販売拡大



車載用コネクタ

■ グループ連携強化とコスト競争力の強化

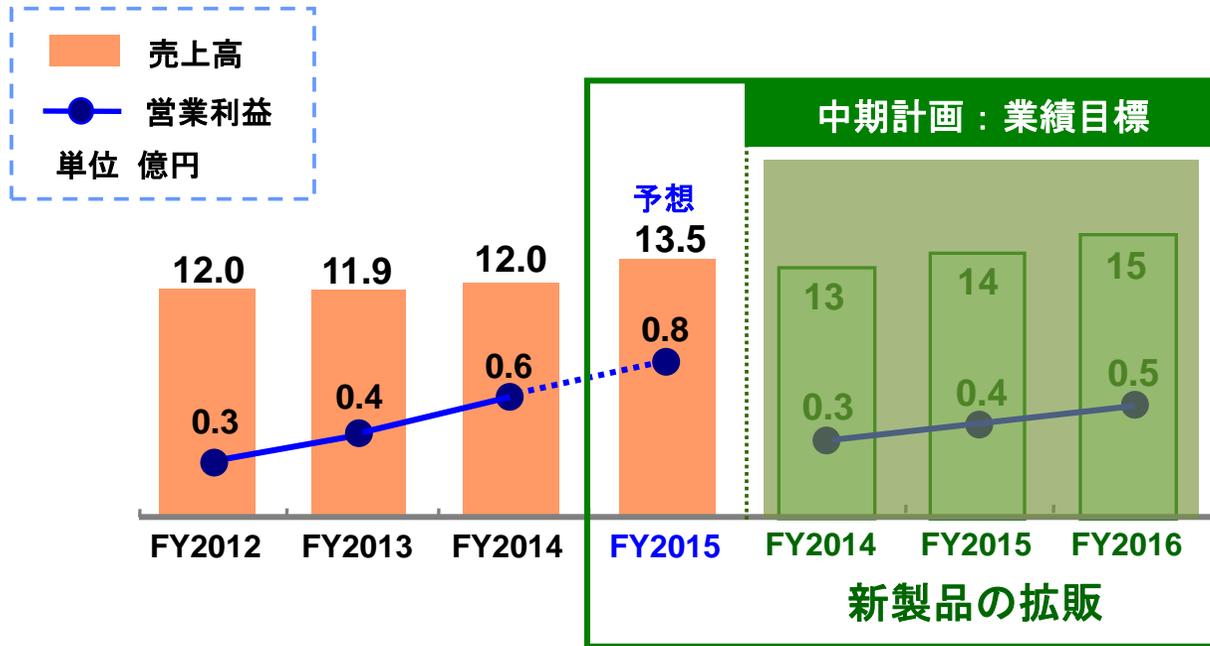


通信インフラ向けコネクタ



産業機器向けコネクタ

- 新製品開発による差別化とグローバルでの拡販
- 光通信市場・医療機器市場・民生市場の3市場向け光関連製品の拡販
- 戦略製品の開発・製造の一体化によるリードタイム短縮とコスト削減



※為替レート 1\$ = 105円



波長可変半導体レーザー



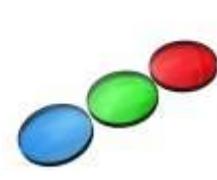
光通信フィルターモジュール



ポリイミドフィルタ



反射防止膜



顕微鏡用蛍光フィルタ



RGBフィルタ



UV/IRカットフィルタ



高耐カレーザーミラー

- ◇ グループ連携を推進
- ◇ ワールドワイドでの業務効率化を推進
- ◇ グループ会社の活用(特に製造)を推進



取締役の業務執行に対する監督機能の強化を図り
 経営の透明性向上を目的として
 新たに社外取締役候補者2名の選任を決議

氏 名	略 歴
くすみ けんしょう 楠美 憲章 (昭和 15 年 2 月 1 日生)	昭和 38 年 4 月 日産自動車株式会社入社 平成 10 年 6 月 同社代表取締役副社長 平成 14 年 4 月 中央大学大学院客員教授 平成 14 年 6 月 日産車体株式会社社外監査役 平成 14 年 6 月 カルソニックカンセイ株式会社社外監査役 平成 17 年 7 月 中小企業・地域シェアドサービス株式会社代表取締役社長 平成 21 年 6 月 日比谷総合設備株式会社社外取締役(現任)
むらた ともひろ 村田 朋博 (昭和 43 年 6 月 17 日生)	平成 3 年 4 月 大和証券株式会社入社 平成 6 年 7 月 株式会社大和総研入社 平成 8 年 9 月 モルガン・スタンレー証券会社入社 平成 21 年 2 月 フロンティア・マネジメント株式会社入社 マネージング・ディレクター(現任)

ご清聴ありがとうございました。

※注意事項

本資料は、2015年5月14日現在の当社グループの事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載した意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

問合せ先: 経営管理部広報課 笹川康彦

TEL: 03-3734-7661 FAX: 03-3734-0120

<http://www.yamaichi.co.jp>

E-mail: sasagawa@yamaichi.co.jp